

近代都市の成立

グリッド・プラン Priene, Miletos(古代都市)

New York (近世・近代都市): ブロードウェイの存在

理想都市の系譜 ローマ都市における軸(Cardo 南北軸と Decumanus 東西軸)

Palma Nova : V.Scamozzi 設計 1593 城砦的構成

Karlsruhe ; 放射状都市 極座標による場所の設定

Paris 大改造: G.E. Haussmann(1809-91)

Paris 人口: 55万人(1801)、105万人(1851)、271万人(1900)

暴動の時に防御しやすく、見て気持ち良く、往来の容易な都市

スラムの除去、健康状態の改善 空気、日光、軍隊のよく通る大通り(ブルヴァール)

都市中心: モニュメント、宗教施設、鉄道、商業施設(デパート)

ブローニュの森(西): 上流/ヴァンセンヌの森(東): 庶民

例: オペラ座: 広場(1858)、コンペ(1860)、完成(1875)

バロック都市: 軸線・焦点・多面性

Vienna 大改造: Rinkstrasse 都市壁の撤去→大通り・記念建築

London 改造: John Nash(1752-1835)

リージェント・ストリート/リージェンツ・パーク

近代の成立

- ・産業革命 1770s ---- 生産・機械化・工業化・都市化
- ・フランス革命 1789 ---- 王制・身分制の廃止 土地没収・都市再編
- ・アメリカ独立宣言 1776 ---- ヨーロッパ世界が相対的存在となる

江戸から東京へ

武家地/寺社地/町人地(別の国)

土地の一元化: 租税・警察司法権 空間の誕生 場所の読み替えによる近代

地霊(ゲニウス・ロキ: Genius Loci)

人傑地霊: 中国の言葉 人物が現われるのは土地の力によるとする考え

場所の精神のこと/土地の精霊/場所に宿る可能性

土地に残された過去の痕跡、場所のもっている特性、つまりは土地の可能性のことをゲニウス・ロキというが、このゲニウス・ロキを発見する力をわれわれは歴史学の研究を通じて、また計画学の手法を通じて、蓄積してゆく必要がある。